

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議
別記様式第 4 号						
会 議 等 結 果 報 告 書						
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	上富教社第 7 2 5 号			
		決裁期日	令和 6 年 1 2 月 1 7 日			
名 称	令和 6 年度第 3 回スポーツ推進委員会議					
日 時	令和 6 年 1 2 月 1 2 日（木）18：30～19：15					
場 所	社会教育総合センター 大集会室					
出席者	スポーツ推進委員 岩切委員長、齊藤副委員長、井澤委員、佐々木委員 鎌田委員、池田委員 計 6 名 教育委員会 村上主幹、松田主任、青野主事					
内 容	進行：岩切委員長 ○議事 1. 「町民玉入れ大会」について（反省評価） 資料 1 （事務局） ・大会当日の運営にあたっては特に問題なく円滑に実施することができた。 ・早く参加者が集まったので委員長に確認を取り予定より早く開会式を行った。 ・練習で怪我をした人がおり、保険を使えないかという相談があった。今回は練習期間を保険に含めていなかったため、自費治療となったが、今後同様の事案が発生した場合について相談したい。「大会外の怪我は自己責任」と表記するか、参加料を割増して練習期間も保険の対象とするなど、協議願いたい。 →開催要項やチラシに「大会外の怪我は自己責任」とする旨を表記することとした。 （齊藤副委員長） ・今回は運営側の参加も多く、各コート 3 名体制で円滑な運営ができた。 今後、運営側の参加者が減る可能性もあり、大会参加チームにも計測等の支援をしてもらってはどうか。 ・試合によってかごの高さが異なるため、事前に各高さに設定したかごを準備しておく、さらに円滑に進行できる。 （岩切委員長） ・参加者（特にこどもチーム）が試合終了後にかごから玉を落としたがる傾向にあり、ロープを強く引っ張ると切れる可能性があるため、集計や計測はコート中央で行い、玉を落とす作業も運営側で行ったほうがよい。					

(佐々木委員)

- ・試合をしていない（見学）チームが観戦の際、コートで観戦していたが、徐々にコートラインに近づきボールに触りそうな位置まで来ていたため、目印となるラインなど引けないか。

→ラインを引くにして、もし玉がライン外に出た場合の対応など難しい部分が出てくるため、待機場所から応援するなどの対応を検討する。

(池田委員)

- ・トーナメント戦は抽選で決定するが、ママさんチームとこどもチームで勝負したくないという意見があった。

2. 「かみふらの雪合戦大会」について

資料 2

(事務局)

- ・2月2日に開催する「かみふらの雪合戦大会」について、開催要項等内容を確認し、計画どおり事業を取り進めることで推進委員の承諾を得た。
- ・1月中に審判講習会を実施する旨を報告し承諾を得た。

(岩切委員長)

- ・推進委員の協力について、午前と午後に分けて依頼していたかと思うが、今年度の取扱いはどうか。

→昨年度は2部門での開催となったため、午前中で大会が終了した。参加チーム数により依頼方法を考える。

- ・当日の飛び入り参加は可能とするか。

→1チーム7名が必要となり、当日に希望者のみで編成できるかどうか…。参加状況を見て再度協議する。

(齊藤副委員長)

- ・沿線の自治体も参加対象としていることから、スキー客等に周知すると盛り上がるかと思う。

3. 「十勝岳アクティブツアー（仮）」について

資料 3

(事務局)

- ・開催要項等内容を確認し、今年度も実施することで推進委員の承諾を得た。
- ・特にエアボード使用時に安全管理が必要なため、多くの委員に参加願いたい。
- ・イベント名称について、内容が連想しにくいとの意見があったことから、新名称の検討をお願いしたい。(参考までに、事務局案を数点提示)

(岩切委員長)

- ・「冬の十勝岳で遊ぼう！～スノーシュー&エアボード体験～」でどうか。

→異議なし。(新名称決定)

4. その他

- ・ 次回の会議は3月中に開催する。
- ・ ①雪合戦大会、②冬の十勝岳で遊ぼう！の出欠について、後日照会文書を送付するため回答願いたい。
- ・ 次年度のアリーナ天井改修工事について、事務局より情報提供を行った。